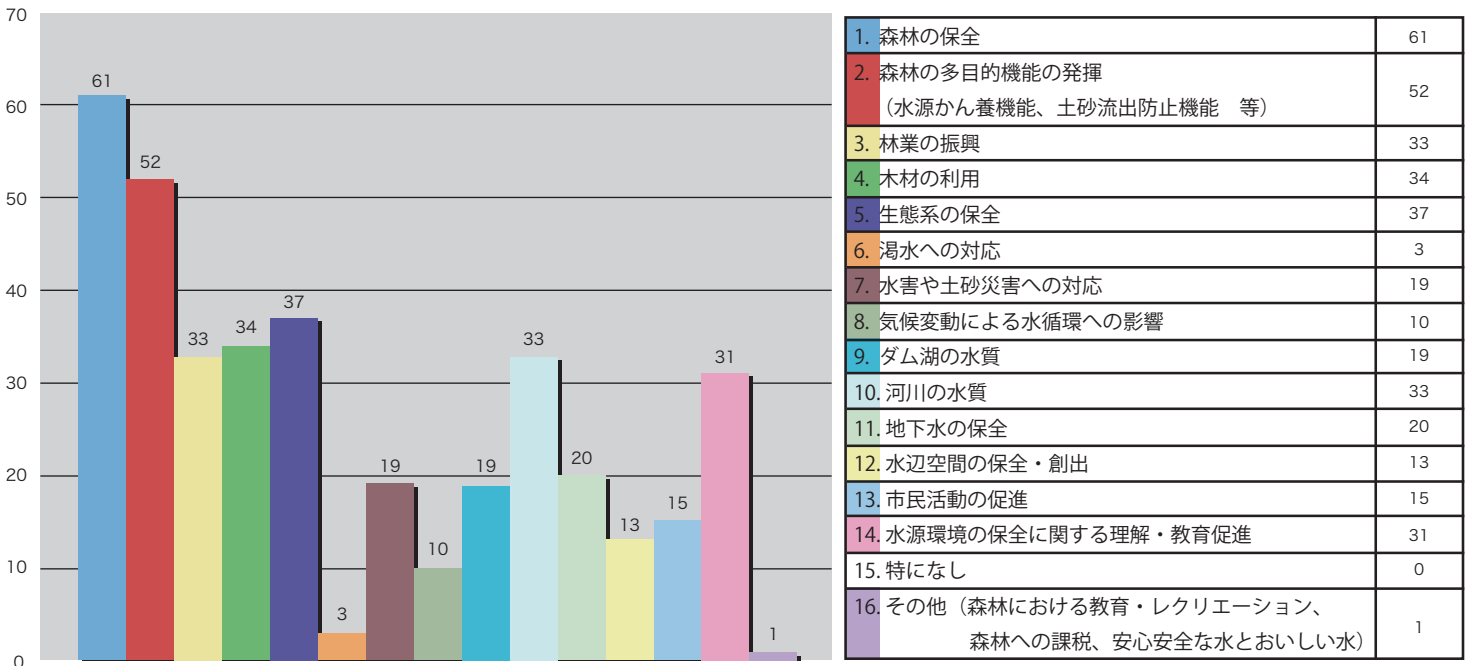


Q1 水源環境保全・再生に関わる問題について、関心があるものは何ですか。（複数回答可）

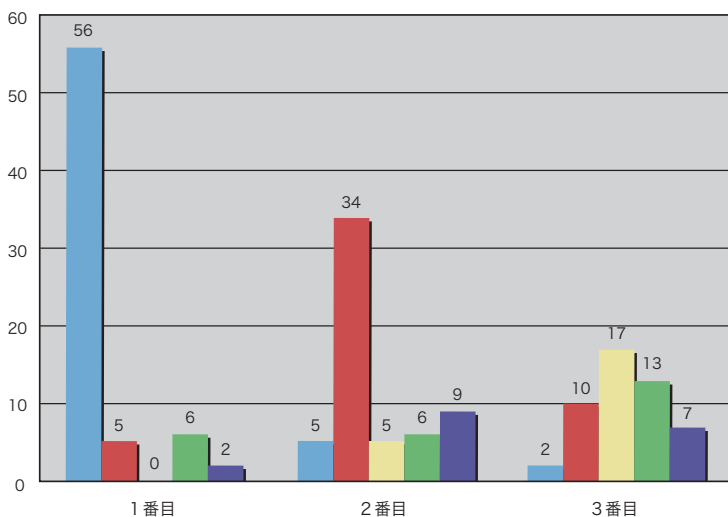


Q2 神奈川県これまでの水源環境保全・再生の取組みについて、効果があったと思うものは何ですか。

また、今後力を入れて取り組む必要があると思うことは何ですか。

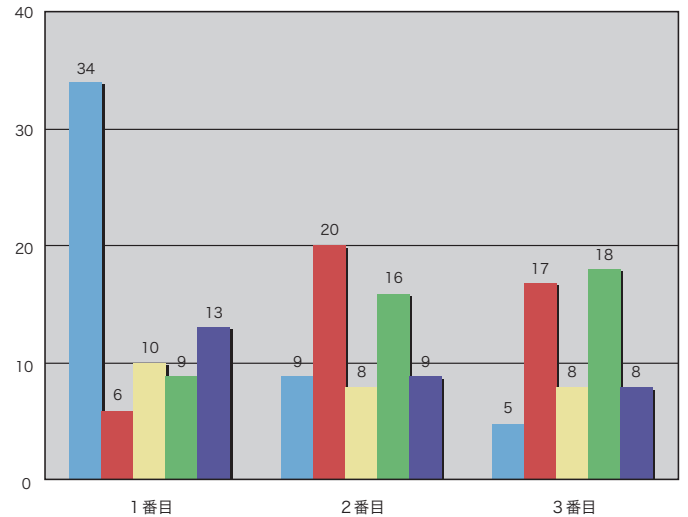
効果があったと思う順、取り組む必要があると思う順に3つお答えください。

1. 森林の保全・再生（水源林整備、土壌保全等の基盤整備、生物多様性保全などの取組み）
2. 河川の保全・再生（生態系に配慮した水辺環境の整備、ダム湖の水質浄化などの取組み）
3. 地下水の保全・再生（地下水のかん養・水質保全などの取組み）
4. 水源環境への負担軽減（家庭や事業所等からの排水によるダム湖や河川の水質汚染の軽減などの取組み）
5. 相模川水系上流域対策の推進（相模川水系上流域（山梨県）における森林整備や生活排水の水質浄化などの取組み）



効果があったと思うもの

	1番目	2番目	3番目
1	56	5	2
2	5	34	10
3	0	5	17
4	6	6	13
5	2	9	7

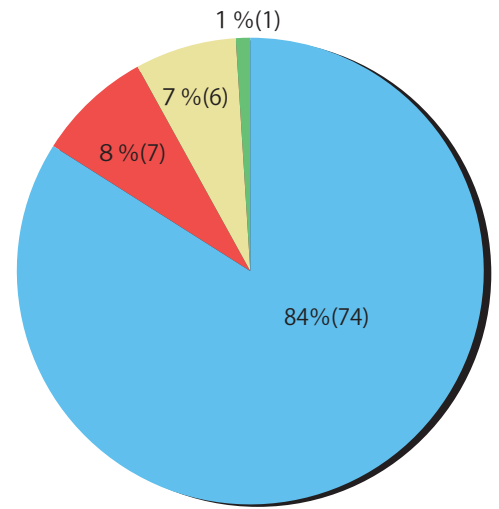


今後取り組む必要があるもの

	1番目	2番目	3番目
1	34	9	5
2	6	20	17
3	10	8	8
4	9	16	18
5	13	9	8

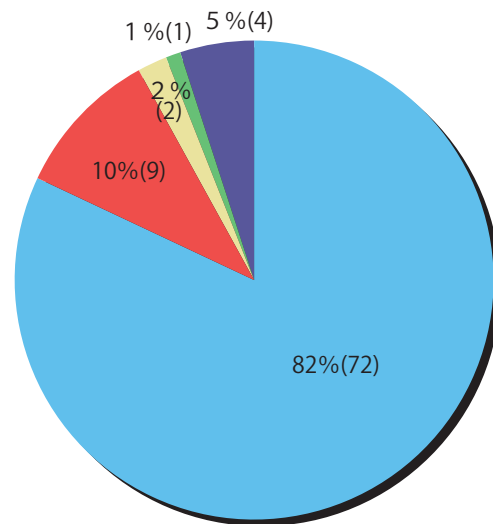
Q3 神奈川県では、平成 19 年度から個人県民税の超過課税（水源環境保全税：納税者一人当たり年額約 890 円）を県民の皆様にご負担いただき、これを財源に水源環境の保全・再生に取り組んでいます。このことについて、ご存じでしたか。

1. 知っていた	74
2. 税金の名前はきいたことがあるが、詳しいことは知らなかった	7
3. 知らなかった（今回のフォーラムで初めて知った）	6
未回答	1



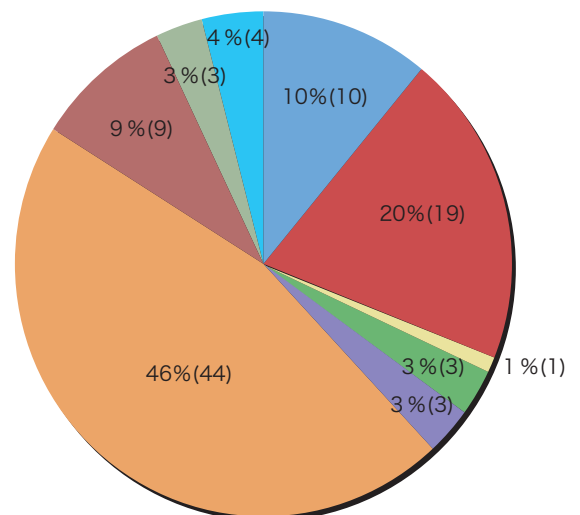
Q4 水源環境保全税を活用した水源環境保全・再生の取組みについて、重要だと思いますか。

1. 重要	72
2. どちらかといえば重要	9
3. どちらかといえば重要ではない	2
4. 重要ではない	1
5. わからない	0
未回答	4



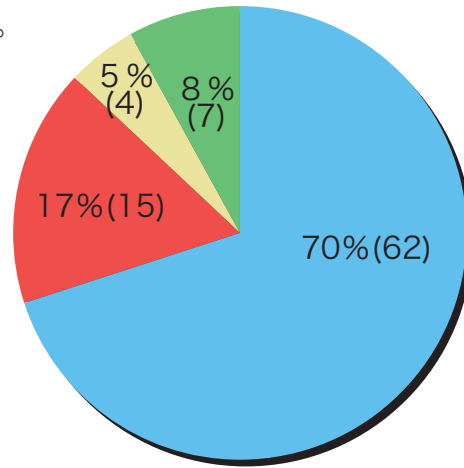
Q5 今回の県民フォーラムを何でお知りになりましたか。

1. 県のたより	10
2. チラシ	19
3. 新聞記事	1
4. 県のホームページ	3
5. 県のメールマガジン	3
6. 所属する団体を通じて	44
7. 友人・知人から	9
8. その他（桂川、相模川地域協議会） （東京都市大学、中川でのチラシ）（未記入）	3
未回答	4



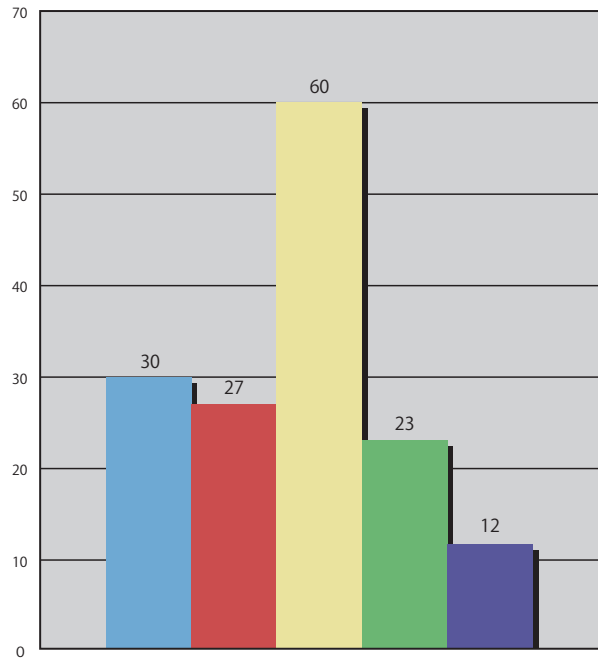
Q6 今回の県民フォーラムはいかがでしたか。

1.良かった	62
2.ふつう	15
3.改善が必要	4
未回答	7



Q7 今回の県民フォーラムで良かった内容がありましたか。(複数回答可)

1. 基調講演	30
2. 県の取組み紹介	27
3. パネルディスカッション	60
4. 会場参加型討論	23
未回答	12



Q8 水源環境保全・再生の取組みに関してご意見・ご質問等がありましたら、お聞かせください。

※回答を希望する 6件

- ◎現活動者がどこの団体でも高齢化にあり、後継者育成が課題であるので各団体を県として PR 強化に努め頂きたい。
- ◎山梨県、静岡県との協力が必要であることから、各県との協働について、個別対応以外に国への働きかけ（県を越えての仕組みづくり）はどのようにお考えでしょうか？※河川流域保全法の制定など・・・
- ◎1.水源環境保全税を活用した事業のうち「森林の保全・再生」への取組は進んでいるとの印象を受けた。さらに事業を継続する必要があると思います。
 - 2.これに対し「水源環境への負担軽減」（特に合併処理浄化槽）の促進状況はまだ充分といえない状況との印象を受けました。
 - 3.これらの課題については水源環境保全税と一般財源を相互に有効に活用できる仕組みづくりが重要と思われます。
- ◎多額の税金を使ったわりに極小の効果しか得られていない。民間活力を全面に押し出さないと公務員による税金のムダ使いになる。山林の個人所有者が入り組んでいるので、間伐林は他人の土地を通らないと搬出が出来ない。
- ◎①今後営業メリットのない林業地については自然林に戻した方が保水性が向上するのではないのでしょうか？林業のスクラップ&ビルドが必要では？
 - ②私権の制限、放置民有地に対し、行政が介入することが今後必要では。（例、放置廃屋の撤去等の条例化）
植林地→自然林に戻す
 - ③民地の（山林）の寄附の促進又は営業していない山林の固定資産税を上げて寄附贈与することは可能か
- ◎開会あいさつは内容が伝わってこなかった。成果報告は課長、保全センター2件ともパワポがとてもわかりやすくよかった。運営、基調講演、パネリスト、申し分ない。パネリストの方の発言に賛同した。水源環境保全税の本質だと思う。

※ 回答を希望しない 24件

- ◎県のどの部門の計画・実績評価の県民対象のシンポジウムが開催されているが、共通項として数字の羅列だけのまとめ方で、ポイントの解説がない。作成された資料も素人が読んでもおもしろくも何も感じられない。県民への県政への啓蒙を目的とするならもっと分かり易い解説が必須である。
- ◎税を活用した間伐の推進の他に、森林の保全・水質の保全を目的とした規則等はどのようなものがあるか。またそれは十分に機能しているか？
- ◎準備段階からご苦労さまでした。ありがとうございます。7年をまとめられ良かったです。よく分かりました。
- ◎木材生産を推進したい方々が木材生産と自然環境保全は相反する面をどのように対応するかの考えはあるのか疑問に感じました
- ◎木も利用できるなら、もっとシカのような命を奪ってしまうことへの利用を考えてほしい。
- ◎税を使う優先順位を考えて下さい
- ◎河川ゴミ問題の対策事業にも水源税を充てるべき。
- ◎担い手養成は県と国(みどりの雇用創出)とを兼ねて評価との回答でしたが、県としてはトータルで、どれほど目標(数値)を立てているのか、県内の手入りが完了するのか教えていただきたい。

- ◎私たち、大人が真摯に取りくんでいく事は、もっとも大事な事であると思いますが、やはり子供たちに次世代教育としての担い手対策は重要ではないかと思いましたが。また、パネリストの方々の話の中で、税の公平性を考えると疑問も出る所ですが、考え方や感じ方を柔らかくする事も大事ではないかとも思いました。
- ◎税金を払っているのは理解しているが、利用状況、効果についてもっと市民に PR しても良いのではないか。方法を検討してほしい。水源ボランティアももっと PR すれば参加者も希望者も多く出るのではないか。多分知らない人が多いと思います。元気なシニア世代を活用して下さい。
- ◎フォーラムの開催の告知について。今現在活動をされている方は多く出席されているようですが、興味はあるけれど情報が入ってくる団体に所属されていない方などへの告知はどうか。一般の方もですが、県職員になろうと考えている方など、県主催で行われた他のイベントなどでの告知も力を入れていくべきではないでしょうか。
- ◎間伐材の利用法の促進法を知りたい。
- ◎間伐材の有効利用の一つにバイオマス(発電外の)利用の枠を作れないか
- ◎司会がパネリストに甘い。
- ◎間伐・鹿狩りをすることで下草が増し、水源環境に良い影響は分かりました。間伐材、鹿の利用ルートを作ればさらに活動が進むのではないか。間伐利用度・搬出見合うか。
- ◎1.水源環境保全再生事業の効果としての沿岸漁業資源の回復などは検証可能でしょうか？いわゆる魚つき林
2.目的税にすべきものか？補助・交付先のあるべき姿
- ◎水源環境保全・再生の取組みとは県の使う水資源の保全と考えてよいのか。それとも県内の河川環境保全も含むのか。水資源の保全と考えるなら山梨県側の植林・下水道整備を重点的に行うべきではないか。こういう機会を設けていただけてよかったです。林業振興はもっと方法を考えるべきである(里山資本主義等)
- ◎間伐材の活用に関連して。娘夫婦は一昨年、木を活用した家を鎌倉市内に新築した時に、暖房として「木を燃やすストーブ」を選択した。しかし、周囲の目を気にして、昼間は使用していない。(苦情を受けたわけでもない。理由は”におい”)一般の方の理解(再生可能エネルギー、林業の活性化・拡大→気候変動の緩和等)を深める活動も必要ではないか。木材=森林の重要性を小学生から気づかせる。林業の活性化は市場を作ることが不可欠
- ◎神奈川県を取り組みは他に類をみない先進的な内容であるが財源の少ない地方の税対策の活用の仕方等、参考にすべきところがあるのではないかと思う。
- ◎今回のシンポジウムの目的がわからない。参加者はカコの関係会議・委員などが多いようでした。
- ◎水は食とのつながりが大きいと思う。本件の活動を食にからめて PR するのも意識の高揚になるのか・・・
- ◎桂川清流センターでの取り組みを否定するつもりはないが、合併処理浄化槽の設置の県外助成の方が合理的で効果があると思う。もちろん山梨県の施策への組み込みが必要だと思うが、がんばって欲しい。
- ◎(参加型討論について)最後はパネリストの持論を展開する「場」になってしまった一面がありましたので参加者が強い印象を受けると思いますので注意が必要だと感じました。
- ◎パネルディスカッションはパネリスト間の意見交換が欲しかった。「かながわの水源環境保全・再生はどこまで進んだか」に沿ってもう一步ふみ込んだテーマがあつてないと思う。準備ご苦労さまでした。

会場で回収した質問・意見

○アオコについて

- ・毒性について、どのような害があるのか。
- ・化学的な処理でないと減らすことができないのか。
- ・リンが堆積しているのではないか。
- ・アオコを無くすための将来的な見通し・対策は。

○水源林整備について、7年間でどのくらい進んだのか、改善があったのか、数値データで示してほしい。

○林業に関わる人材を育成する取組みが少ないのではないか。もっと財源をかけるべきだ。

○モニタリング結果の検証が大事である。

○特別対策事業 12 事業の進捗状況について、7年間で 100%を超えているものがいくつかあるが、何故か。

会場で発言があった質問・意見

○リンは昔は合成洗剤に入っていたもので、かつて琵琶湖で合成洗剤が問題となった。リンが相模湖に沈着しているのではないか。

○神奈川県内で本当に材として使えるものはどのくらいあるのか。

○水源環境保全・再生施策は、一般財源と水源税で実施しているが、どこまで一般財源でやるのか、切り分けが重要である。標準的な財政需要と、それを上回る課税をお願いする特別な財政需要というのはどう考えたらいいのか、教えていただきたい。

○年間にどのくらい間伐材が出て、どのくらい利用されているのか、定量的なものを聞きたい。また、材として使うだけではなく、バイオマスなどいろいろな利用方法がある。間伐材を利用するという分野としてどうあるべきかが無いために、利用が遅れているのではないか。

○市町村で実施している生態系に関する取組みや直接浄化に関する取組みは、一生懸命浄化する一方で生活排水を垂れ流しているなど、効果があるかわからない取組みをやっていた。市町村の取り組み方の見直しを望みたい。

○子供たちへの普及事業へも水源税を充ててほしい。実際の現場に近いところで体験ができるビジターセンターが廃止される実情がある。水源税を活用して、または民間の力を活用してもいいかもしれないが、子供たちへの普及啓発の機能を担うようなものが必要だと思うので、検討してほしい。

○広葉樹林の整備について 植生回復に至っていない。東丹沢周辺の森は行く度に表土流出があり、水源涵養機能が失われている。対策はどう考えているのか。